

同窓会会員の皆様、如何お過ごしでしょうか。また各界でご活躍のこととお喜び申し上げます。

同窓会の会報である「新芽」も第41号を発行する運びとなりました。これは非常に長い歴史であり過去の同窓会役員の皆様のご努力の賜物と感謝しますとともに、今後も会員の皆様のご意見も頂きながら、「会員相互の親睦」に寄与できる会報作りに努めていきたいと思っていますので、各種ご提案をいただければ幸いです。

奈良高専同窓会の会員数は、1969年（昭和44年）3月に第1期生の方々が母校奈良高専を卒業された後年々増加し、現時点で8,000名近くとなりました。また、毎年5クラス百数十名の会員が増えている状況であり、正に巨大な組織になってきています。

同窓会の目的である「会員相互の親睦をはかり、あわせて母校の発展に寄与する」を達成するため、同窓会の幹事、理事の皆様と相談しながら種々の取り組みを進めているところですが、現役学生への支援事業ということで昨年度より「学生プロジェクト」への資金提供も開始したところです。

また、先に記載しました通り、1969年3月、第1期生卒業と同時に「奈良高専同窓会」も設立されましたので、2019年度には同窓会設立50周年を迎えることになり、この機会に記念事業を計画したいと考えています。内容的には同窓会ホームページで皆様から記念事業のアイデアを募集し、集約した結果、以下の内容について実施する予定としています。

1. 式典・イベント開催
2. 記念冊子、会報発行
3. 記念品作成、贈呈
4. 同窓会会員名簿、同窓会ホームページ改善、会員相互のネットワーク作り
5. 学校への記念事業

各事業の具体的な内容については、理事の皆さんおよび同窓会の下部組織であります「新芽交流会」の皆さんを中心に詰めを行っていく予定ですが、特に「会員相互のネットワーク作り」を大きなテーマとして取組んでいきたいと考えています。会員の皆様にも是非ご協力いただきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。

さて、母校奈良高専の状況は、ご存知の方もおられると思いますが昨年全国高等専門学校ロボットコンテストにおいて2年連続「ロボコン大賞」を受賞する快挙を成し遂げています。また、毎年年末に開催されます奈良高専運営諮問会で、「奈良高専の教育の高度化」、「地域創生への産学連携の取り組み」についての取り組みのお話を伺っていますが、いずれも私の在学中にはなかった取り組みばかりであり、高専の教育も大きく変わったとの印象を強く受けています。また、奈良高専の各種取り組みについてもホームページに種々紹介されています。本年も11月4日（土）に同窓会総会を開催する予定ですので、是非皆様もこの機会に母校を訪ね、総会参加とともに、奈良高専の変化を目の当たりにされたらどうでしょうか？

最後に、同窓会会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈りして、新芽第41号のご挨拶とさせていただきます。